事例No.	1794
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	青森県三沢市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	包括委託

事例内容・タイトル

三沢市浄化センターの運転管理への包括委託の導入

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【青森県三沢市】
三沢市浄化センターの運転管理への包括委託の導入

包括委託 **下水道事業**

青森県三沢市上下水道部下水道課

● 取組の概要

下水道施設の維持管理経費を節減するため、民間企業の技術力を導入した。

◆総事業費　委託料　469,700千円（3年契約）
令和3年度から令和5年度まで（現在2年目）

◆背景

- 下水道施設の老朽化や維持管理に係る技術継承、新技術導入による経費節減が重要な課題とされる中、将来にわたり持続可能な下水道事業を推進するためには、民間企業の技術力を取り入れ経済的な事業を運営していく必要があった。

◆具体的内容

- 処理場、ポンプ場、管路の維持管理及びこれまで個別発注していた業務を包括業務に含み発注した。
- 包括業務導入時の受託業者からの技術提案書に基づき、当該契約額範囲内で新技術の散気装置を導入した。

◆効果

- 複数業務を包括的に委託したことにより、3年間で約11,000千円の運転管理費が削減される見込みである。
- 業務を複数年の委託契約とすることにより、事務の簡素化が図られる。
- 新技術の散気装置導入により、前年度電気使用量比で約7%の節減が図られた。

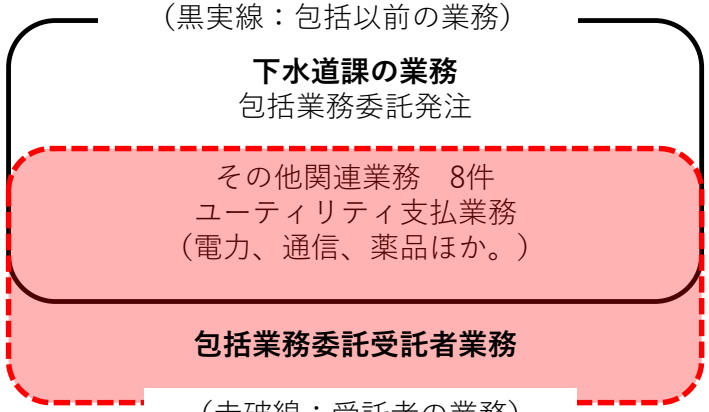
● 取組のポイント

- 積極的に新技術導入に取り組むため、新技術の導入が可能な民間企業を選定することとした。散気装置導入については、包括業務導入時の受託業者からの技術提案書によるものであり、当該契約額範囲内で導入している。令和3年度の6月に散気装置を導入し、前年度電気使用量比で約7%の節減が図られる見込みである。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　38,744人　（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　119.87km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　27,499人　（令和3年度決算）

包括業務のイメージ
（黒実線：包括以前の業務）



（赤破線：受託者の業務）

● 取組のスケジュール

- 令和元年度　検討開始
- 令和2年度　プロポーザル選定を実施
- 令和3年4月　運用開始（令和5年度まで。）

● 今後の展望

- 本業務は、3年間の実績が出ていないが、ほぼ順調であるため、第2期目の包括業務は、農業集落排水事業を含むプロポーザル選定による5か年契約を検討中である。